

開一小だより

第420号
令和4年2月28日発行
練馬区立開進第一小学校
校長 石神 徹

三つの落とし穴から

校長 石神 徹

授業が終わり、充実感・解放感をもって、下校する子どもたちに一つ目の落とし穴が。正門を出た都道歩道に留まってのおしゃべりや横広がりでの歩行です。通行する人の迷惑になります。そうなると、学校に電話が入ります。学校は何をやっている、しっかり指導してほしいと。苦情ではなく、助言・期待と受け止めます。教員研究などで4時間授業給食後一斉下校となると、エネルギーを持って余す、子どもたちの危険時間帯ともなります。逆に6時間授業で15時過ぎまで一緒にいれば、うんざりするのかわ、清々するのかわ、比較的に速やかに解散します。以前の学校だよりに記したように、昭和戦前だって、別れは名残惜しいのですから、致し方ないとも思うのですが。地域に迷惑をかけるようであってはなりません。

降雪後、エネルギー発散のために、早期開放した校庭で遊ぶ子どもたちに二つ目の落とし穴が。南側のシュート板付近はぬかるみが深く、こけて、服に土をまといにまとった子どもが一人ならず、複数出現。子どもたちよ、思考・判断なさい。とは言っても、エネルギーブレーキが利きづらいことは私もわかります。こけて、初めてわかることもあります。結局、保健室の着替え服や体操着で急場をしのぎました。

感染厳しい中、勇躍登校する子どもたちに三つ目の落とし穴が。8時15分前に到着しても寒い中、時には雨の中、入室を待ちます。雨ニモマケズ風ニモマケズ・・・サウイフモノニ ワタシハナリタイの宮沢賢治・開一版。子どもたちは健気です。しかし、8時25分を過ぎると、ちと心配になります。あいさつ校門で待つと、この時間帯にこそという子どもが見えてきます。社会性をはぐくみ、社会との接点ともなる学校生活を支える生活習慣・生活基盤が定まりづらいのであろうと。

一つ目の落とし穴は地域の迷惑になっていることもあり、緊急に副校長先生が昼の放送で、含めて三つの落とし穴について注意しました。どうしても話したければ、都道歩道ではなく、校地内ジャングルジム近くなどの配慮を。人を大切にすることであり、自分を大切にすることであると。

数日後、笑顔の副校長先生が私に言いました。「校長先生、開一の子は素直です。正門外で集まることがないようです。泥の校庭に突っ込む子もあれからいません。学級でも担任の先生から子どもたちの姿を認め、伝えていきたいと思えます。」注意されたことは当然であり、できて当たり前、それを誉めるなんて、と思っていた私は、大切なことを“取り戻した”思いでした。早速、Meet 全校朝会で注意を素直に受け止め、次の行動を考える開一っ子にうれしい思いであること、子どもたちの姿から学んだことを話しました。

子どもと日々生活をともにする保護者のみなさまにも子どもの日常の当たり前を認め、喜ぶことを忘れてしまうことがあるのではないのでしょうか。日々接していると、小さな変化は当たり前で、見落とすことがあるかもしれません。『灯台下暗し』になるかもしれません。逆に、入学時から少し離れて子どもたちを見ている私には背丈の伸びや精神的なたくましさを感じることがあります。朝自分で起きる、手助けなく着替える、朝食を食べる、あいさつをして定刻に家を出る、決められたお手伝いをする、気づいて手伝えればなお結構。当たり前は大きな成就の基盤です。小さな当たり前を子どもとともに喜ぶことは子どもの飛躍を後押しすることでしょう。

まだ、完全に解消されていない落とし穴があります。8時25分過ぎの登校です。あいさつ校門で待つ私の指導力も問われます。今、本校に通う600名超の子どもたち、すべてを入学時に私が迎え入れているのですから。入学式で「これからは子どもたちの姿は教師を映す鏡ととらえて、全霊で・・・」と申し述べていたのですから。今の子どもたちの姿に対して逃げも隠れもできません。ときに厳しい表情を見せつつも、「明日は2分早く家を出ましょう。」「明日は4分早くがんばり！」と春光の如く温かく。様々な事情を思えば、カミナリは封印。最終的には子どもの“覚悟”がなければ、変容しません。

さあ、三月。期待を裏切らない開一っ子のエネルギーを受け止める春はそこかしこに。子どもの“覚悟”に寄り添う朝は、明るさと温かさを増しています。

あいさつ校門こと正門。早春は梅の門になります。



3月の行事予定

3月21日(月・祝)まで措置が再延長されます。区ガイドラインに準じて、下記朱書きのように変更します。(3月4日改訂)

日	月	火	水	木	金	土
		1 全校朝会(Meet等) 安全指導 4年5時間授業 4年保護者会	2	3 3年5時間授業 3年保護者会	4 2年保護者会	5
6	7 避難訓練 (不審者・全集なし) 6年生を送る会 1年音楽発表会 1年保護者会	8 児童集会(Meet等) PTA総会	9	10 短縮前半始 1～2年4時間授業 3～6年5時間授業 委員会話し合い活動 (6時間前半の短縮実施)	11 1～3年4時間授業 4～6年5時間授業	12
13	14 全学年4時間授業 クラブ活動 (5時間目30分程度の短縮実施)	15 送別球技大会 (2学級ごと) 1～2年4時間授業 3～6年5時間授業	16 1～4年4時間授業 5・6年5時間授業 送別球技大会予備日	17 短縮後半始 全学年4時間授業	18 全学年4時間授業	19
20	21 春分の日	22 全校朝会 全学年4時間授業	23 たてわり朝遊び 給食終 全学年4時間授業	24 修了式 1～5年2時間授業 6年3時間授業 卒業式予行(3時間目)	25 卒業式 	26 春季休業日始
4月当初		5 新6年前日登校 春季休業日終	6 始業式 入学式	7 全学年3時間授業	8 2～6年給食始 2～6年4時間授業 1年3時間授業	9

3月の生活目標 《一年間のしめくくりをしよう》

生活指導部

令和3年度も締めくくりの月となりました。今年度もとにかく感染症に大きく影響された年度でした。前例がないことばかりが続き、不安やストレスがたまる我慢の1年だったと言えます。

学校が常に抱えている感染リスクを少しでも低くするために、学校は新しい学校生活様式を模索し続けました。現在の社会情勢下で集団生活を送るためには、本当に様々なことに気を付けなければなりません。それらの意味を考えさせ、自らを律して、進んで行動していける子に育てていきたいと考えております。ご協力の程、よろしく申し上げます。

～電話連絡網の取り扱いについて～

電話連絡網は、各ご家庭での適切な廃棄をお願いいたします。これまで、年度末に学校で回収をしていましたが、6月まで使用するPTAの委員会があり、回収する際の混乱を防ぐためです。ご理解とご協力をお願いいたします。

